

職員による自己評価

**A 環境面**

- ・十分な広さがある。
- ・職員の人数が多かったり、少なかったり感じる場面がある。

**B 児童への支援内容**

- ・活動プログラムが固定化しないように考慮し、特性に合わせて行っている。
- ・長期休みにはイベントを行っている。

**C 関係機関との連携**

- ・相談事業所や学校関係との連携、情報共有が上手に出来ていないと感じる。
- ・専門家の監修を受けている。

**D 保護者への説明責任・信頼関係**

- ・契約時に重要事項説明等の書類にて説明をしっかりと行っている。
- ・連絡帳や送迎時に活動報告や様子等をお伝えしている。

**E 非常対応**

- ・マニュアルの整備は出来ているが保護者への周知が不十分に感じる。
- ・避難訓練は年2回、実施している。

保護者による評価

**A 環境面**

- ・十分に走れる広さがある。
- ・きれいに整理整頓されているので危なくない。
- ・年齢、人数によっては狭い気がする。

**B 児童への支援内容**

- ・子どもにあった支援がきちんとされている。
- ・毎週プログラムが替わり工夫されている。

**C 事業所からの情報発信**

- ・契約時に運営規定や重要事項説明書などの説明を受けている。
- ・報告は受けているが職員により子どもの様子の報告量、専門性に差がある。
- ・見学がないので細かな様子の報告やアドバイスがほしい。
- ・見学の機会があれば良いと思う。
- ・保護者同士の連携は無くても良いと思う。

**D 非常対応**

- ・訓練しているかよく知らない、わからない。
- ・マニュアルはあったかも知れないが周知されていない。

事業所内での分析

**【共通点】**

- ・緊急時のマニュアルの周知が出来ていない。
- ・契約時に重要事項等の説明を受けている。

**【相違点】**

- ・送迎時や連絡帳で保護者とのコミュニケーションが取れていると思ったが温度差がありもっと詳しく様子を知りたい、アドバイスがほしいなどの希望があった。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・活動プログラムが充実している  
(長期休暇中のイベント含む)
- ・子どもの特性に合わせたプログラムを実施している
- ・専門家による研修受講、療育内容の監修

### 事業所の改善点

- ・緊急対応マニュアルの保護者への周知
- ・活動報告、お子様の様子の保護者への周知

### 事業所の改善への取り組み

- ・送迎時やブログ、お便りで保護者の目線に合わせた活動内容や様子の報告等を行います。
- ・緊急時対応マニュアルを再度、保護者の方々へ配布物での周知を行っていきます。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

情報発信が職員の思っているよりも十分に伝わっていないということが結果からわかり、保護者目線に合わせ保護者が必要としている情報をより伝えていく必要性を感じました。今回の結果やご意見を日々の療育に活かし、より良い療育が展開できる様にしていきたいと思います。

事業所名 のびの木 戸塚汲沢

担当者 中村 千晶